

言心先生の中国便り

海外の愛国留学生

先日、中国民主化を議題にした集会で、ある日本人の女性講師が面白い話をした。

彼女は、ある私立大学で中国社会学を教えている。授業にはいつも百名前後の学生が出席するが、その中に数名の中国人留学生在というのである。そして、彼女が現在の中国の社会問題をとり上げると、必ずこの数名の中国人留学生在が反発するということである。

彼らは、「あなたは間違ったことを言っている」、「中国の国情は民主主義に合わない」、「中国は偉大な国だ」などと叫んで先生の授業を混乱させるといふ。女性講師がこのことを紹介したときの苦笑いの表情は非常に印象的であった。

日本以外に、オーストラリア・アメリカにも沢山の中国人留学生在がいる。彼らは中国留学生会という組織を設立し、授業やその他の大学運営において様々な妨害活動を展開することがある。

最近、オーストラリアの新聞に、中国人留學生は大学の自由と開放に相対する存在である、という社説が載った。現代社会には、グローバル化と情報化という二つの特徴がある。しかし何故、中国人留學生の大部分は海外に出ても開放的な社会の情報吸収せず、いつまでも古い思想を持ち続けるのだろうか。

まず、彼らは、幼少期から受けた愛国教育と、映画・テレビ作品の影響から簡単に抜け出す事ができないのが理由の一つである。中国語の表現で「吐掉狼奶」という表現があり、狼の乳を吐き出してから普通の人間にな

るといふ意味であるが、それは当然難しい。

次に、中国人留學生の大部分は裕福な家庭の出身で、中国の国情が分かっていないということが挙げられる。彼らの感覚では中国とは北京・上海という大都市だが、貧困な農村地域についてはほとんど知らないのである。

また、彼らは異国での生

活における失敗から、祖国が人生の数少ないよりどころになり、祖国の悪口は絶対に許せないという感情が爆発するのかもしれない。

さらに、外国人は若い中国人留學生にいつも中国は凄い国だというお世辞を言うものだから、留學生はそれを真に受けてしまう。一方、彼らにとって祖国への批判は非常に耳が痛いのである。



陶陶酒本舗の
栄養補助食品

通信販売

携帯電話、PHSからもOK!



0120-039-064

<電話料無料>お問い合わせ/午前9時~午後5時 月~金(祝・祭日等除く)・お申し込み/午前9時~午後9時 年中無休

オンラインショップ

